

1	小売店舗における消費者向け食品ロス削減実証実験
連携先	大阪府,H2オーリテイリング(株)
活動期間	2021年度～2022年度
実績・報告	大阪府、エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社と、管理栄養士養成大学等で食品ロス削減手法について検討し、デイリーカナートイズミヤ花園店において実証実験を行った。コトPOPの作成、店舗内での啓発などに参加した。 2021年12月16日：食品ロス学生ワークショップ 2022年9月2日：店舗内でのフィールドワーク 2022年9月3日：学生ワークショップ
Webサイト	https://www.pref.osaka.lg.jp/ryutai/foodloss/kourizissyou-kekka.html
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	 

2	「もったいないやん！食の都大阪でおいしく食べきろう」学生プロジェクト
連携先	大阪府
活動期間	2019年度～継続中
実績・報告	上記と併行して実施。
Webサイト	https://www.pref.osaka.lg.jp/ryutai/foodloss/mottainaiproject.html
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	 

3	岬町立保育所における食育
連携先	大阪府岬町
活動期間	2022年度～継続中
実績・報告	大阪府岬町内にある町立保育所（淡輪保育所）において食育を実施した。あわせて、保護者にもって食育便りを配布した。 食育実施日：2023年2月7日
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	

4	修徳景観づくり事例集の作成協力
連携先	修徳景観づくり協議会
活動期間	2021年度～継続中
実績・報告	修徳景観づくり協議会は、京都市市街地景観整備条例に基づき、地域の景観づくりに主体的に取り組む組織として、地域景観づくり協議会制度に指定されて、2021年に10周年を迎えた。居住環境学科3回生の2名は、過去10年を振り返り、将来に向けたビジョンづくりを、修徳景観づくり協議会と共に作成した。その作成過程では、京都市都市計画局および京都府建築士会まちづくり委員会などの協力も得て、官学民プロジェクトとして実施した。その成果は、京都新聞朝刊（2023年4月28日）に掲載された。
Webサイト	
写真・チラシ等	https://kyotokeikan.org/syutoku_HP/syutoku_image/keikan/exemplar230302.pdf
SDGsへの取り組み	

5	共創ラボ@YAMATEDAI
連携先	茨木市山手台街づくり協議会
活動期間	2021年度～継続中
実績・報告	茨木市山手台は、高齢化に伴う保健医療問題や交通問題が顕在化している。そこで、大学（加登および大阪大学共創機構）、山手台街づくり協議会、山手台自治連合会、茨木市役所、民間企業（F・Linkなど）、茨木市社会福祉協議会、山手台地域包括ケアセンターなどと共同で、共創ラボ@YAMATEDAIとして、産官学民プロジェクトとして、地域問題の解決に向けた取組を進めている。その取組みの一つとして、居住環境学科3回生の2名は、保健医療問題の解決に向けて、山手台コミュニティセンターにて、健康フェスタの実施に取り組んだ。この成果は、2023年度から、大阪大学COI-NEXT「住民と育む未来型知的インフラ創造拠点（JST関連グラント、10年）」の支援を受けている。
Webサイト	https://mirainfra.otri.osaka-u.ac.jp/news/230602/
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	

6	山手台5、6丁目街づくりガイドラインの作成協力
連携先	茨木市山手台5丁目,6丁目自治会
活動期間	2022年度～継続中
実績・報告	茨木市山手台5丁目、6丁目は、1960年代に開発された閑静な郊外住宅地として、豊かな住環境を維持している。しかし、その住環境の維持に貢献していた「建築協定」が失効してしまうという問題に直面した。その問題に対して、大学（加登）と茨木市山手台5丁目、6丁目、茨木市役所は、共同で官学民の検討委員会を発足した。そして、時代の変化に即して、規制の大きな建築協定を更新するのではなく、あえて、コミュニティを重視するガイドラインを作成する方針で意思決定を行い、2023年度中の策定に向けて、ガイドラインの作成に取り組んでいる。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	